

2024年10月30日

報道関係各位

暮らしと事業を支える“水”を守る取り組み
「ツムラ茨城工場の森」植樹会を筑波山で初実施
～森林づくり活動を通じて植物生態系や豊かな自然環境の確保へ～

株式会社ツムラ（本社：東京港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、茨城県の筑波山において、植樹などの森づくり活動を通じて環境保全を図る取り組み「ツムラ茨城工場の森づくり」の一環として、第1回目となる植樹活動を実施したことを、お知らせいたします。

当社グループでは、サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」の実現に向けて、今後も継続的な植栽活動を通じた、持続可能な自然環境の保護、また霞ヶ浦の水源である筑波山の豊かな森林づくりに貢献してまいります。



筑波山の一画「ツムラ茨城工場の森」での様子（2024年10月19日）

■ 「ツムラ茨城工場の森づくり事業」について

当社茨城工場では、植物生態系や水源の確保につなげることを目的に、2022年から「NPO 法人地球の緑を育てる会」の支援のもと、筑波山における植樹活動やどんぐり採取を定期的に行い、また工場敷地内で育苗などに取り組んでまいりました。今年10月に「ツムラ茨城工場の森」（敷地面積：約100㎡）が筑波山の一画に完成し、第1回目となる植樹活動を実施いたしました。

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、吉崎
〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 shuzai@mail.tsumura.co.jp

■ 植樹活動について

第1回目となる「ツムラ茨城工場の森」植樹活動には、当社茨城工場の従業員とその家族合わせて約30人が参加いたしました。参加者の皆様はスコップなどを用いて、コナラやシラカシ、シロダモなど、計200本の苗を1時間にわたって植樹いたしました。

今後の予定としては2026年の秋に実施する2回目の植樹会に向け、どんぐり採取や育苗を随時実施していく他、新たな森づくり活動に向けた情報収集などを行ってまいります。



■ ツムラグループの取り組みについて

漢方薬の製造・販売を行う当社の事業は、自然の恵みである生薬の栽培からはじまる「漢方バリューチェーン」によって構成されており、自然環境と深い関わりがあります。事業の根幹を成す豊かな自然環境を未来につなげていくために、また、持続可能な社会の創造に向けた社会課題の解決のために、「自然と生きる力を、未来へ。」というサステナビリティビジョンの下、「資源の循環利用（水・生薬残渣の再資源化）」「生物多様性の保全（森林・土壌・水源の涵養）」等をマテリアリティ（重要課題）に掲げ、事業活動を展開しております。

当社グループでは、今後もこうした森づくり活動を通じて、持続可能な自然環境保護、生物多様性保全へとつなげていくとともに、製造用水の主要な取水源である霞ヶ浦や周辺流域に注ぐ筑波山の豊かな森林づくりに貢献できるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。

以上

■ ツムラ茨城工場について

1983年竣工、操業開始。現在、ツムラには医療用漢方製剤を生産する工場が国内に2つあります。茨城工場は少品種大量生産に特化し、静岡工場（1964年竣工）は医療用漢方製剤の他、一般用漢方製剤も含め多品種少量生産の役割を担っております。

